

江東ウイズの 子どもたち



第2まつぼっくり
バルーンで遊ぼう

さくらんぼ
工作の前でハイポーズ



まつぼっくり
みんなで予定決め





一般社団法人
江東ウィズ

障害児のゆたかな地域生活をつくる

一般社団法人 江東ウィズ

放課後事業 =障害のある子ども達の放課後生活をゆたかに=
さくらんぼ子ども教室
まつぼっくり子ども教室
第2まつぼっくり子ども教室
プラス事業 =ファミリーサポート=
緊急一時保護
レスパイトケア
=障害のある人達の余暇を有意義に=
OB会活動

一般社団法人 江東ウィズ 代表理事 高原 武



「江東ウィズ」は、障害のある本人自身が、常に活動の主人公であること、そして、地域の人と主に豊かな生活を創りだしていくことを目的にし、活動しております。

障害児の放課後等デイサービスを中心に、「プラス事業」として、『ファミリーサポート』と『青年・成人期の余暇支援』を展開しております。

前者は「緊急一時保護」と「レスパイトケア」を内容とし、後者は江東ウィズの放課後等デイサービス事業所の卒業生を対象とした「OB会」を内容としています。

障害児・者の福祉は、今日、大きな変化と課題に直面しております。変化に対応し、障害児・者とその家族の豊かな地域生活を実現すべく、当該障害児・者の状況、並びに環境に応じた適切なかわりを実践しております。

そのためには

- ①子どもの発達していく姿をきちんと受け止め、理解すること
- ②子どもの内面にある思いを受け止めること
- ③仲間との関わりを大切にしながら、集団活動をするこ

を、目指して参ります。

江東ウィズって？

一般社団法人江東ウィズの前身である『まつぼっくり子ども教室』は、障害の種類や程度、年齢の差を越えて、「たとえどんな障害をもっている、生まれ育った地域の中でのびのびと健やかに育ってほしい」という保護者の願いから、1983年に開設されました。

放課後や長期休業中の集団活動を通して、学齢期の子ども達の発達を保障する活動と共に、障害のある人たちが、現在および将来にわたり、地域の中でゆたかに暮らすことを目指し、家族支援のための一時預かりや、卒後の余暇活動なども行なっています。

2012年、国は障害のある子どもたちの放課後活動を支えるための制度を作りました。それに伴い、江東ウィズでは、児童福祉法に定められた『放課後等デイサービス事業所』を3カ所もち、事業を展開しています。

この放課後等デイサービス事業所には様々な形態があり内容もそれぞれですが、江東ウィズでは（子どもの発達していく姿をきちんととらえ理解する）（子どもの内面にある思いを受け止める）（仲間との関わりを大切にしながら集団活動をする）などのことを大切にしています。そのためにスタッフ集団によるケース会議や活動の振り返り等の学習の場も多く設けています。

こんな人たちが理事です！

代表理事	元特別支援学校校長
副代表理事	元特別支援学校副校長
専務理事	発達相談員
〃	障害者団体事務局長
業務執行理事（2名）	子ども教室所長
理事（5名）	保護者
監事	元特別支援学校教諭
〃	保護者



一般社団法人 江東ウィズ 概要

【目的】当法人は、活動の主人公は障害のある人自身にとらえ、現在および将来にわたり、地域の中で豊かに暮らすことを目的とし、この目的を達成するために、次の事業を行う。

- 【事業】
- ①障害のある子どもたちの放課後活動など学校外活動を通して発達を保障する事業
 - ②学校卒業後の余暇を有意義に過ごすために、地域活動の場を保障する事業
 - ③障害児・者本人、および家族への各種支援事業
 - ④地域の人たちとの交流活動を通して青少年の健全育成に寄与する事業
 - ⑤障害のある人たちのゆたかな地域生活を支える人材を育成する事業
 - ⑥児童福祉法に基づく児童発達支援および放課後等デイサービス事業
 - ⑦児童福祉法に基づく障害児相談支援事業
 - ⑧障害者自立支援法および障害者総合福祉法に基づく障害福祉サービス事業
 - ⑨前各号に掲げる事業に附帯または関連する事業

【事務局所在地】東京都江東区猿江2-9-5

TEL 03(3635)6301

FAX 03(3635)3285

E-mail maturi-box@nifty.com

【事業所所在地】

さくらんぼ子ども教室

江東区扇橋3-3-7 宮内ビル1・2F

(都営新宿線・東京メトロ半蔵門線 住吉駅下車徒歩12分

扇橋3丁目バス停下車徒歩1分)

TEL & FAX 03(5683)0871

まつぼっくり子ども教室

江東区猿江2-9-5 2・3F

(都営新宿線・東京メトロ半蔵門線 住吉駅下車徒歩1分)

TEL 03(3635)6301 / FAX 03(3635)3285

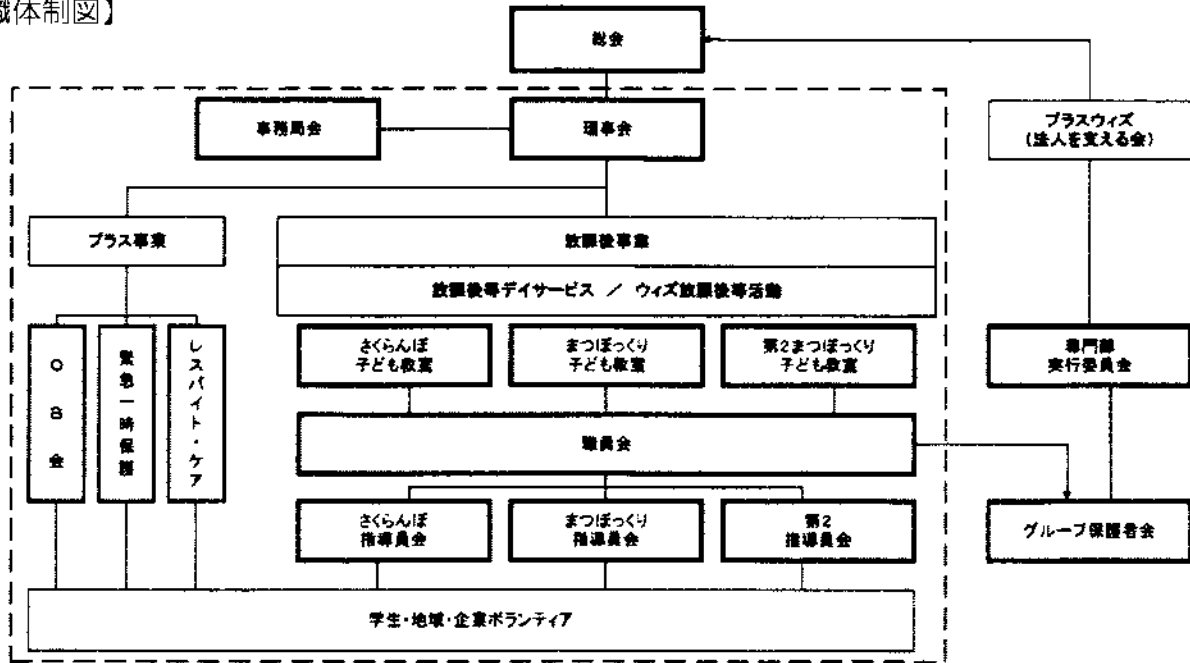
第2まつぼっくり子ども教室

江東区海辺3-7 シャリオビル1F

(東京メトロ東西線 東陽町駅バス7分 千田バス停下車徒歩4分)

TEL 03(6666)3766 / FAX 03(6666)3877

【組織体制図】



子ども教室で大切にしていること

2012年に放課後等デイサービスが創設されて以降、当初2540箇所だった事業所は急速に増え、3年足らずで倍以上の事業所が存在し、5万人を超える子ども達が通っています。このように、量的な拡大はすすんで来ましたが、放課後活動の内容の質が損なわれずに拡大してきたのが、最近になって問われています。

放課後保障の活動自体は、放課後等デイサービスが創設される以前から、長い時間をかけて内容の充実を積み上げてきた歴史がありました。そこでは、保護者と職員が共同して、子どもにとってどのような内容にしていくのが望ましいのかということ、語り合いながら、子どもの利益を中心に置いてきた歴史でもあります。

しかしながら、2012年の量的拡大が急速に進んだ一因として、事業収益を認めるという制度変更があり、そうした動機で事業に乗り出す事業者も認められたという点もあります。こうしたことから、これからの放課後等デイサービスは、子どもの利益、すなわち子どもの権利を大事にし、その権利の中心である発達の保障をめざすような質の、事業内容になっているのか、それとも事業収益だけに目がいて、子どもの発達を保障できないような内容になってしまっているのか、というように事業内容の質が問われる時代になっています。

わたしたちウィズは、事業内容の質について、さらなる充実が必要と考えているところですが、これまでの内容でも一定の成果を挙げていると自負しています。そのような活動の一端が、「みんなのねがい」という雑誌の、2015年5月号に取り上げられました。京都大学の丸山啓史先生の記事のなかで、「ボールをゆする」というところでも取り上げられています。こののちに、その記事を掲載しましたので、参考にしてください。

シャリオへ
ようこそ



さくらんぼ



まつぼっくりの家

2012
OB クリスマス会

